

「SDGs（エスディーゼズ）って、なんだろう」

「SDGs（エスディーゼズ）」という言葉を知っていますか？

「Sustainable Development Goals」の略称で、2015年9月に開かれたサミットで、「持続可能な開発目標」として採択され、「誰一人置き去りにしない」をスローガンに掲げ、2030年までに世界を変えるための17分野の目標（ゴール）と169の具体的な目標（ターゲット）を設け達成を目指しています。

例えば、「貧困をなくそう」という目標では、一見、開発途上国を支援するための課題のように見えますが、日本各地で「子ども食堂」が提供されている状況などから、経済的に困っている人が多くいるという実状があります。

また、「ジェンダー平等を実現しよう」という目標では、2018年12月に世界経済フォーラムが発表したジェンダーギャップ指数において日本は、149か国中110位でした。このように、先進国と言われる日本でも、他人事ではなく、積極的に取り組むべき課題と言えます。

先日、私は、「常識にとらわれない制服」と題し、ズボンだけの生活から一遍、中学生になりスカートを半ば強要され、大変苦しんだ体験談を聞き、これはまさに「SDGs」だと実感しました。「普通って何？」「一人の人間として」「自分らしく」について、とても考えさせられる内容で、多くの参加者からの拍手が印象的でした。

SDGsを特別なものでなく「自分ごと」として捉え、もっと関心を持ち推進できればと考え、より住みやすい朝霞のまちづくりの始まりになればと思っています。

※このコラムは、市と協働している男女平等推進事業企画・運営協力員が、日々の生活の中で感じている「男女平等」について執筆しています。

（次回は11月号に掲載します。）

問合せ/ それいゆぷらざ（女性センター） ☎463-2697

